

安保法案

教授やママも反対

参議院で安全保障関連法案の審議が大詰めを迎えるなか、福井では、福井大学の教員有志がネットで法案反対の署名を募り、宗教者と女性グループは共同で自民党の国会議員宛てに抗議のはがきの投函を呼びかける活動を始めた。

署名呼びかけ 抗議のはがき

福井大学有志の会



安保関連法案の廃案を求めるネット署名への賛同を呼びかける福井大学大学院の森透教授（左）ら

宗教者・ママの会



国会議員宛てに抗議のはがき投函を呼びかける藤兼衆さんとヤング有希子さん＝いずれも県庁

福井大学の教授らは2日、「安全保障関連法案の廃案を求める福井大学有志の会」を結成。「政権の判断で憲法の解釈を変えることは、立憲主義の精神からは認められない」などとする声明を発表した。今後、同大の教職員や在学生、卒業生に法案成立阻止の署名をネット上で呼びかけ、広く県民から募ることも視野に入れている。

大学関係者によると「有志の会」などは、100を超える国公私立大で結成。同大では、8月上旬から様々な分野の29人の教員が呼びかけ人となって準備してきた。

呼びかけ人代表の森透教授（教育学）は「今月が法案審議の正念場。廃案を目指す多くの賛同者を募りたい」と話した。

専用ページ（<http://fukudaivuu.shinokai.wix.com/index>）からの署名No.

「武力に依らぬ平和を願う宗教者の会 福井」と「安保関連法案に反対するママの会―福井」は2日、自民党県連と県選出国會議員宛てに、安全保障関連法案の廃案を求めるはがきの投函を呼びかけ始めた。

はがきには、法案に抗議して赤い文字で「IKEN！ やめ」と書かれ、4種類4千枚を作成した。

「宗教者の会」は8月半ば、仏教・キリスト教の宗派・教団を超えた有志で結成。「ママの会」は7月、作家の澤地久枝さんらがネット上で呼びかけた「アベ政治を許さない」全国一斉行動に応じて発足した。

「ママの会」代表のヤング有希子さん（45）は「はがきであれば、声をあげづらい人も参加しやすい」と話し、広く参加を呼びかけている。はがきの問い合わせは宗教者の会の藤兼衆さん（077-678・7627）。（日本経済）